



ストレス・テストング対応支援サービス

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

今次金融危機は、従来リスク管理の主要手段であったVaR (Value at Risk) の限界を明確に示すと同時に、こうした限界を乗り越える手段として、ストレス・テストングの有効な活用が非常に重要であることを改めて金融関係者に認識させました。また今次危機を踏まえて、国際機関や各国当局から出された多くの報告書(例えば、09年5月にバーゼル委員会が出した「健全なストレス・テスト実務及びその監督のための諸原則」)も、ストレス・テストングの重要性を強調しています。

その一方で、グローバルにビジネスを展開する大手金融機関を含め、多くの金融機関が「真に意味のある」ストレス・テストングとは何か、これをどのようにすれば実行できるのかを模索しているのが現実です。この点は、09年10月末に出されたシニア監督者グループの報告書(“Risk Management Lessons from the Global Banking Crisis of 2008”)でも、「多くの金融機関が、ストレス・テストングの強化に注力しているものの、いまだほとんどの金融機関が、組織全体を見渡した頑健なストレス・テストングを実行するには至っていない」と指摘しています。

あらた監査法人は、現在グローバルに展開されているストレス・テストングに係る議論の先頭に立つ専門家や、国内のみならず世界経済が直面するリスクを多様な切り口から分析する専門家を多数擁し、今後金融機関に求められるストレス・テストング体制構築に対してさまざまな支援サービスを提供します。

あらた監査法人がご提供するストレス・テストング対応支援サービスの例

ストレス・テストング実施体制(全般)の整備支援

- 「明日の当局動向」や国内外金融機関の先進的プラクティスも踏まえたPwCの方法論に基づき、リスク管理上「真に意味のある」ストレス・テストング実施体制の整備を支援します。
- 業界や金融機関の規模・複雑性等に応じて、費用対効果の高い体制整備を支援します。
- ストレス・テストング高度化ニーズの強さに応じて、ストレス・テストングにおける永遠の悩みであるシナリオの「客観性」や「網羅性」、さらには「forward-looking性」の確保のための体制整備も支援します。

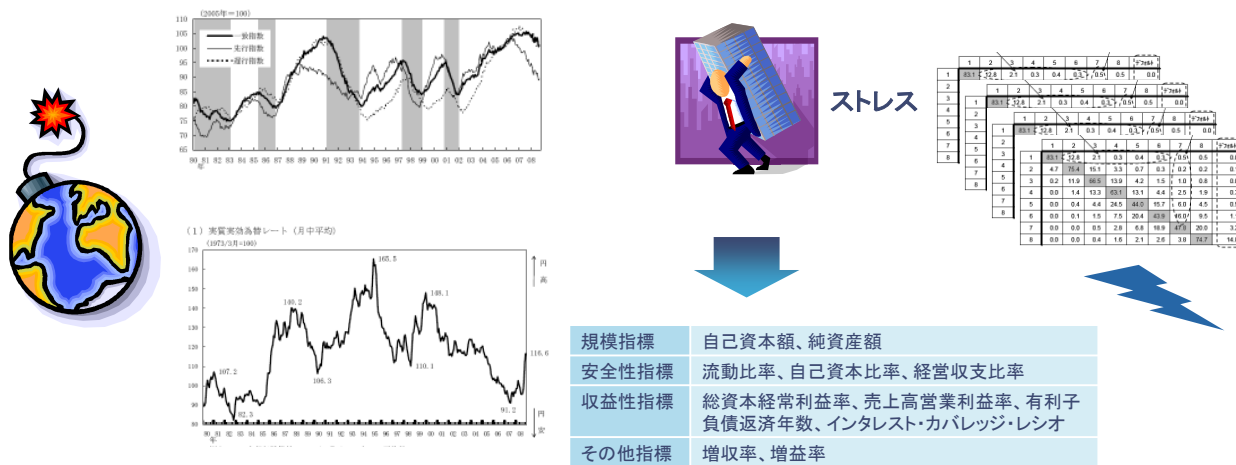
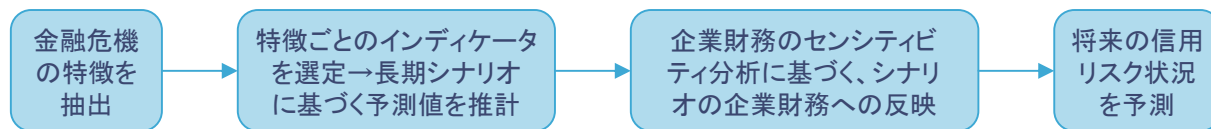


ストレス・シナリオ作成の支援

- 今次金融危機は、ストレス・テストングに求められるシナリオ作成の難易度を一層高めるものでもありました。
- 具体的には、①市場や金融機関が見逃していた、あるいは過小評価していたリスクが一大危機に転化するという意味での「通念の不安定性」、②グローバルなマクロ経済の不均衡が自ら直面する危機に転化するという意味での「グローバル性」や「波及性」、③異なる部署がテイクしている一見異なるリスクがさまざまな形で絡み合っているという意味での「連関性(相関)」、等の要素を考慮することが求められています。
- あらた監査法人では、それぞれの金融機関が有しているリスク・プロファイルや、直面している環境に応じた、様々なストレス・シナリオの作成を支援します。

あらた監査法人がご提供するストレス・テスト対応支援サービスの例

ストレス・テスト実施体制の支援サービス(一例)のイメージ図



ストレス・シナリオ作成に必要な情報の定期的提供

- 頑強なストレス・テスト体制整備において、最も重要な要素の1つは、直面する外部環境に応じた機動的なリスク・シナリオの作成です。
- もっとも、言うは易く行うは難し。金融機関が直面するあらゆるリスクを、グローバル・ベースで常にモニタリングし、これを分析するためには、リスク管理者やエコノミストといった人材を相当数、常に確保することが必要となります。多くの金融機関にとって、ストレス・シナリオ作成のためにこれだけの人材を確保することは、非常に難しいのが実情です。
- あらた監査法人では、PwCのグローバルなネットワークもフルに活用しながら、常時溢れるように流れ込む、内外当局の新たな規制情報、内外の金融システムの頑健性に関する情報、さらには内外のマクロ経済や金融市場におけるストレス情報等を、リスク管理部署でストレス・シナリオとして迅速に活用できる形に直した上で、定期的に提供するサービスを計画中です。

ストレス・テスト実施体制に関する内部監査支援

- 今次危機を踏まえた多くの報告書が強調しているように、ストレス・テストは、外部からの検証を経て初めて、VaRと並ぶリスク管理の一翼を担う存在になるといえます。そのためには、内部監査部署が、ストレス・テストの有効性を検証することが不可欠となります。
- あらた監査法人では、金融機関の内部監査部門向けに対しても、内部監査プログラムの作成等、ストレス・テストに対する監査体制整備に向けて支援します。

お問い合わせ先

あらた監査法人
リスク・コントロール・ソリューション部

大山 剛 Email: tsuyoshi.oyama@jp.pwc.com Tel: 080-3727-0973
遠藤 英昭 Email: hideaki.endo@jp.pwc.com Tel: 090-6045-9637